



## 横井 克典 議員 無会派

# 問 南部ルートでの本格導入は 答 別手段を協議会で検討する

○「チョイソコやとみ」(デマンド型交通)について以下を問う。

**問** 社会実験で運行する日を、火曜日と金曜日にした理由は。

**答** (市民生活部長) 移動困難者等に、受け入れてもらえるかを考慮。

**問** 利用者数(延べ)607人は、目標の800人以上を概ね達成できたのでは。

**答** 地域公共交通活性化協議会では、800人が最低ラインと考えた。

**問** 南部ルートでの本格導入の考えは。

**答** (市長) きんちゃんバスの南部ルートを維持しつつ別手段を協議会で検討していく。

**問** 本格導入を望む声は、市長等に届いているか。

**答** 利用者の意見など、協議会の場で報告を受けている。



**問** 市民の声を市長は、どのように受け止めているか。

**答** 真摯に受け止めている。十四山・弥生・白鳥地区での社会実験はいつ頃になるか。

**答** 南部ルートの社会実験の検証結果を基に、デマンド型交通の適正について、協議会で検証予定。現時点では、社会実験を行う予定は未定。

○市道鍋平27号線の歩道設置について以下を問う。

**問** 県施工による歩道設置の動きは。

**答** (建設部長) 本路線の県道昇格に向けて、継続して要望している。

**問** 県施工による歩道設置の用途は。

**答** 用途は立っていない。

**問** 歩道設置の要望は、市長等に届いているか。

**答** 地元の要望を受けた議員より聞いている。

**問** 歩道が無い状態で、市民の命を守るのか。

**答** (市長) 道路整備の側面だけでは、答えることができない。

**問** 市道鍋平27号線の歩道設置を

**答** 県施工での用途は立っていない



▲市道鍋平27号線

**問** 県に要望して、25年の年月が経過している。県施工での方針を転換し、市単独事業で歩道設置する考えは。

**答** 本路線は、道路ネットワークから考えて県事業として整備してもらいたい。また、これまでの経緯もあり、引き続き要望していく。

**問** 坂中地交差点付近のように片側だけでも、道路拡幅工事を行ってもよいのでは。

**答** 警察等とも連携し、子ども達の通学路を優先して安全対策を実施していく。